

科目分類	助産学実践科目 実践・関連		開講時期	1年 前期	
授業科目	乳幼児の発育発達とケア				
選択/必修	必修	単位数(時間数)	1単位	15時間	授業形態 講義
担当教員	野々山 未希子				
メールアドレス	m-nonoyama@tsuruga-nu.ac.jp	オフィスアワー	指定なし・事前連絡必要		

授業目的	<p>1) 乳児健康診査の目的と意義を説明できる。</p> <p>2) 乳児健康診査の項目と評価について説明できる。</p> <p>3) ハイリスク児のケアについて説明できる。</p> <p>4) 乳幼児の予防接種について説明できる。</p>
授業概要	乳幼児の発育発達の評価や予防接種について学修するとともに、乳幼児を育てる親への教育・支援について学修する。
授業内容	<p>第1回 乳幼児の発育発達</p> <p>第2回 乳幼児の発育発達の評価と健康診査</p> <p>第3回 乳児期の育児相談・育児支援</p> <p>第4回 乳児期の育児相談・育児支援 グループ討議、まとめ</p> <p>第5回 ハイリスク新生児、特別なケアを必要とする児 ハイリスク新生児、早産児、低出生体重児</p> <p>第6回 ハイリスク新生児、特別なケアを必要とする児 疾病や障害を持つ乳幼児と家族のケア</p> <p>第7回 乳幼児に起こりやすい疾患と予防 乳幼児に起こりやすい疾患</p> <p>第8回 乳幼児に起こりやすい疾患と予防 乳幼児期の予防接種</p>
教科書・参考書等	<p>教科書：助産学講座8 助産診断・技術学Ⅱ 新生児期・乳幼児期 第6版 医学書院</p> <p>参考書：適宜提示</p>
成績評価基準・方法	参加態度・課題レポート50%、最終レポート50%
履修要件	なし
留意事項・その他	<p>母性看護学・小児看護学での既習内容、国家試験出題範囲は事前に復習しておくこと。</p> <p>本科目を修得していないと、助産学実習ⅠⅡⅢⅣは履修できません。</p>